



賞名	キッズデザイン賞 優秀賞(経済産業大臣賞)
受賞作	ウォーターサーバー FRECIIOUS dewo
企業名	富士山の銘水株式会社
対象	家電
受賞年度	2018年度(第12回)
デザインミッション	子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン
カテゴリー・応募分野	プロダクト、商品デザイン分野
部門	子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門
URL	http://www.kidsdesignaward.jp/search/detail_180360



作品の概要

法政大学デザイン工学部システムデザイン学科教授、安積伸がデザインを手がけた家庭用ウォーターサーバー「FRECIIOUS dewo」が2018年度キッズデザイン賞(主催:特定非営利活動法人キッズデザイン協議会)において、優秀賞(経済産業大臣賞)に選ばれました。

このデザインは年齢層の広いユーザーを想定し、使い勝手や安全性を細かく精査したものとなっています。特に給水ボタンはチャイルドロック機能だけでなく、上部に配置することで子どもの手は届かず、逆に大人には楽な姿勢で使用できます。機能性や使いやすさはそのままに、安全性にもこだわったデザインです。

またこの作品は既に、2015年度グッドデザイン賞を受賞し、JIDAデザインミュージアムセレクション Vol.17の永久収蔵プロダクトにも選定されています。

審査委員コメント

やけどなどの事故が発生している従来機種 of 構造的な問題点をいち早く解消した先行製品である。操作部の位置を、事故に遭いやすい年齢層の子どもが背伸びしても届かず、かつ大人が扱いやすい高さに配置することで、安全性と利便性を両立している。

受賞理由

近年急速に普及した冷温水ウォーターサーバーは、ミルクを作る需要から、一般家庭へ急速に普及しているほか、商業施設の授乳室等への設置も増えている。反面、いたずら盛りの子どもの手の届く位置に、80度以上のお湯が出る操作部がある機種も多く、やけど事故が発生している。本製品は、事故の多い2歳程度までの子どもの目線から見えない高さに操作部を設定し、大人にとっての使いやすさと子どもへの安全性を両立させた。以降のシリーズ化も含め、安全対策の先事例として評価した。

キッズデザイン賞とは

キッズデザイン賞(KIDS DESIGN AWARD)は、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が主催する、顕彰制度である。「子どもが安全に暮らす」「子どもが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」ための製品・空間・サービスであり、優れたものを選び、広く社会へ伝えることを目的としている。日用品から住宅、街づくり、ワークショップ、調査研究まで幅広い分野が対象となっており、子どもが使う製品のみならず、大人・一般向けに開発されたものでも、子どもや子育てへの配慮があれば応募可能である。受賞作品には「キッズデザインマーク」の使用が認められる。(出展:wikipedia)